

2014年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2013年10月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コックス
 コード番号 9876 URL <http://www.cox-online.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉竹 英典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 速水 英樹 TEL 03-5821-6070(代)
 四半期報告書提出予定日 2013年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2014年2月期第2四半期の連結業績(2013年3月1日～2013年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年2月期第2四半期	10,944	—	△ 719	—	△ 613	—	△ 756	—
2013年2月期第2四半期	11,651	△ 8.8	△ 136	—	△ 23	—	△ 154	—
(注)包括利益	2014年2月期第2四半期		△ 90 百万円 (—%)		2013年2月期第2四半期		247 百万円 (—%)	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2014年2月期第2四半期	△ 27.43	—
2013年2月期第2四半期	△ 5.60	—

(注)決算期変更により、前期と比較対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2014年2月期第2四半期	21,538	14,757	68.5
2013年2月期	22,255	14,847	66.7

(参考)自己資本 2014年2月期第2四半期 14,750百万円 2013年2月期 14,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2013年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2014年2月期	—	—	—	—	—
2014年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2014年2月期の連結業績予想(2013年3月1日～2014年2月28日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	24,300	—	200	—	370	—	50	—	1.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
決算期変更により、前期と比較対象期間が異なるため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)
 新規 _____ 社(社名) 、除外 _____ 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2014年2月期2Q	27,711,028 株	2013年2月期	27,711,028 株
② 期末自己株式数	2014年2月期2Q	138,581 株	2013年2月期	138,489 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2014年2月期2Q	27,572,452 株	2013年2月期2Q	27,557,092 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2013年3月1日～2013年8月31日）におけるわが国の経済は、政府による各種経済政策実行も奏功し、企業業績の回復や個人消費の持ち直し等、景気上昇の兆しが見えつつあります。しかしその一方で、原材料価格上昇による物価上昇等、国内景気の下押しリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社が属するファッションアパレル業界は、百貨店等で売上高の回復が見られるものの、消費者の節約志向は依然として強く、厳しい経営環境で推移しました。また、例年以上に早い梅雨明けによるセールの前倒し、長期化等もあり、市場競争環境は大変厳しい状況で推移しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は109億44百万円（前年比93.9%）、営業損失は7億19百万円（前四半期は営業損失1億36百万円）、経常損失は6億13百万円（前四半期は経常損失23百万円）、四半期純損失は7億56百万円（前四半期は四半期純損失1億54百万円）となりました。

売上高については、第1四半期は3月度が好調でありましたが、4月度、5月度は初夏物の動きが悪く、厳しい状況で推移しました。第2四半期は7月度のセール前半、8月度のお盆商戦が順調な売行きとなりましたが、例年よりも早い梅雨明けの影響によるセール前倒し、長期化の影響を受けて、プロパーでお買い求めいただく機会が著しく減少し、また売れ筋商品の量が不足したことで苦戦が続きました。

商品では、メンズがアパレル・雑貨共に堅調に推移する一方、レディース商品が期間を通じて苦戦しました。

ブランドでは、主力の「i k k a」が苦戦しましたが、「L B C」と「VENCE EXCHANGE」は、第2四半期以降売上高が回復し、8月度は既存店前年同日売上実績を超過しました。

店舗展開においては、国内において15店舗、中国に直営1店舗を新規開設し、不採算店舗を中心に国内22店舗、中国直営2店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末店舗数は国内317店舗、中国直営13店舗となりました。

業績が苦戦する中で、年初に掲げた当期重点施策については、当第2四半期累計期間においても一定の成果を得られました。

商品施策においては、「メンズ強化」「雑貨強化」を推進しました。

「メンズ強化」については、主力の「i k k a」は前年売上実績を超過し、また、「CURRENT」及び「VENCE EXCHANGE」において、新たにメンズ商品の展開店舗・取扱商品を増やしたことにより、売上高を増加させることができました。メンズ衣料はジャケット・シャツ・ボトムの充実と、ポロシャツ等のCOOL BIZ関連商品を拡大しました。また、メンズ雑貨は、バッグ・靴・レザー小物のバリエーションを拡大し販売に取り組んだ結果、メンズの売上高は前年比（同日対比）116.6%と順調に推移しました。

「雑貨強化」については、直接輸入販売商品の拡大、ブランドコラボレーション等の施策を実行したことにより、メンズ雑貨は前年比（同日対比）129.7%まで伸張しました。

また、在庫施策については、仕入コントロール及び不振在庫の早期処分を一層推し進めた結果、当第2四半期末の商品は、21億94百万円と対前年6億50百万円減少、前年比77.1%まで削減し、これにより商品回転日数も昨年より20.7日短縮しました。

第3四半期以降は、好調であった「メンズ強化」「雑貨強化」をさらに推進すると同時に、商品の開発・仕入・販売過程を抜本的に見直すことで、レディースの回復を早急に進めてまいります。

主力の「i k k a」については、現有店舗を「カップル型」「シニアシフト型」「ファミリー型」に類型化し、業態のブラッシュアップを図ります。また、既存の「i k k a」の雑貨比率をアップさせ、デジタルライン、高付加価値商品を加えた「アップグレード型」業態の開発にも着手します。専任取締役を配置し、業績回復を早急に進めてまいります。

「LBC」はこれまで成果を得られた都市部小型出店モデルの確立により、出店立地確保につながってまいります。また商品面については、生活雑貨の商品ラインナップの拡充、服飾雑貨の直接輸入販売商品の拡大等により、坪効率の改善を図ってまいります。

「VENCE EXCHANGE」は、駅ビル・ファッションビルの不採算店舗を中心に退店を進める一方、既存店については、メンズ・雑貨拡大による坪効率の改善を図ります。また「デジタルシフト」のトレンドに沿い、9月には日本最大のファッション通販サイト「ZOZOTOWN」、10代～20代女性向けガールズショッピングサイト「LA BOO (ラブー)」へ、新たに出店しました。リアル店舗との相互送客を積極的に進め、売上高拡大に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高の低迷とそれによる売上総利益率の低下という大変厳しい結果となりました。一方、当社の売上高は、第3四半期以降、メンズの売上指数が高くなる構造にあります。これまで成果を上げた「メンズ強化」「雑貨強化」をこの指数の高い期間で一層推進することにより、売上高増加を図ってまいります。

また、前年当社の売上総利益率低下に多大な影響を与えた長期滞留在庫についても、前年第3四半期より当第2四半期まで積極的に処分を進めた結果、当第3四半期以降は、商品回転率向上による売上高・売上総利益率の改善を実現する準備を整えました。

第3四半期以降、上記取り組みに邁進することにより、業績回復に繋げてまいります。

※当社は、前連結会計年度末に決算期を変更しており、前第2四半期連結累計期間は、2012年2月21日から2012年8月20日までとなっております。上記文章内における前年比等の表記は、特に記載のないかぎり当第2四半期連結累計期間（2013年3月1日から2013年8月31日まで）と前第2四半期連結累計期間を比較した参考情報として記載しております。

(2)財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億17百万円減少し、215億38百万円となりました。増減の主な内容は、売上預け金が4億10百万円、保有株式の時価変動により投資有価証券が9億78百万円増加し、たな卸資産が5億4百万円、関係会社預け金が16億円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ6億26百万円減少し、67億81百万円となりました。増減の主な内容は、繰延税金負債が3億39百万円増加し、支払手形及び買掛金・電子記録債務が6億18百万円、その他の流動負債が3億37百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、147億57百万円となりました。増減の主な内容は、資本剰余金が14億72百万円減少し、利益剰余金が7億16百万

円、その他有価証券評価差額金が6億39百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、16億99百万円減少し、44億2百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、8億89百万円となりました。その主な増加の内訳は、非資金費用である減価償却費3億37百万円、たな卸資産の減少額5億4百万円等によるものです。減少の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失6億91百万円、売上債権の増加額4億23百万円、仕入債務の減少額6億18百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、8億26百万円となりました。その増加の内訳は、差入保証金の回収による収入1億52百万円によるものです。減少の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出7億35百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、単元未満株式の買取請求による自己株式の取得によるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年2月期の業績予想につきましては、2013年4月9日の決算発表時に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	702,465	602,982
受取手形及び売掛金	80,298	67,023
売上預け金	702,702	1,113,694
たな卸資産	2,707,470	2,203,026
未収入金	148,271	258,925
関係会社預け金	5,400,000	3,800,000
その他	189,767	208,935
貸倒引当金	△1,393	△1,598
流動資産合計	9,929,582	8,252,990
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,846,774	1,988,304
その他（純額）	212,708	162,090
有形固定資産合計	2,059,483	2,150,394
無形固定資産		
	226,275	202,242
投資その他の資産		
投資有価証券	6,614,807	7,593,502
差入保証金	3,302,410	3,156,080
その他	131,666	189,861
貸倒引当金	△8,313	△6,166
投資その他の資産合計	10,040,570	10,933,278
固定資産合計	12,326,329	13,285,915
資産合計	22,255,912	21,538,906
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,235,861	905,667
電子記録債務	2,196,443	1,908,571
未払法人税等	170,713	89,342
賞与引当金	52,720	99,151
役員業績報酬引当金	—	10,658
店舗閉鎖損失引当金	10,791	8,725
ポイント引当金	4,480	2,835
資産除去債務	17,875	9,513
その他	1,557,386	1,219,780
流動負債合計	5,246,271	4,254,244
固定負債		
退職給付引当金	224,776	246,197
繰延税金負債	1,494,891	1,834,494
資産除去債務	426,601	437,132
その他	15,542	9,425
固定負債合計	2,161,811	2,527,250
負債合計	7,408,083	6,781,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	9,077,876	7,605,084
利益剰余金	△1,482,570	△765,974
自己株式	△59,483	△59,502
株主資本合計	12,038,971	11,282,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,791,679	3,430,703
為替換算調整勘定	10,487	37,262
その他の包括利益累計額合計	2,802,167	3,467,965
新株予約権	6,690	6,690
純資産合計	14,847,829	14,757,411
負債純資産合計	22,255,912	21,538,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2012年2月21日 至2012年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2013年3月1日 至2013年8月31日)
売上高	11,651,369	10,944,544
売上原価	5,076,544	5,218,335
売上総利益	6,574,825	5,726,208
販売費及び一般管理費	6,711,019	6,445,777
営業損失(△)	△136,194	△719,568
営業外収益		
受取利息	7,911	5,159
受取配当金	83,542	91,240
為替差益	1,763	1,974
その他	21,728	8,952
営業外収益合計	114,945	107,326
営業外費用		
雑損失	2,109	1,162
営業外費用合計	2,109	1,162
経常損失(△)	△23,358	△613,403
特別損失		
減損損失	64,366	78,345
特別損失合計	64,366	78,345
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,725	△691,749
法人税、住民税及び事業税	66,772	64,514
法人税等調整額	△72	△68
法人税等合計	66,699	64,446
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154,424	△756,196
四半期純損失(△)	△154,424	△756,196

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△154,424	△756,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	397,958	639,024
為替換算調整勘定	4,029	26,774
その他の包括利益合計	401,988	665,798
四半期包括利益	247,563	△90,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,563	△90,397
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△87,725	△691,749
減価償却費	259,830	337,461
減損損失	64,366	78,345
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,002	46,431
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	10,385	10,658
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△7,500	△2,066
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47,378	21,421
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,307	△1,942
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,911	△1,645
受取利息及び受取配当金	△91,453	△96,400
為替差損益 (△は益)	△1,763	△1,974
売上債権の増減額 (△は増加)	△322,426	△423,235
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△133,220	504,444
仕入債務の増減額 (△は減少)	△516,743	△618,065
その他	242,158	△17,213
小計	△516,931	△855,530
利息及び配当金の受取額	91,958	97,682
法人税等の支払額	△147,736	△138,939
その他	19,621	7,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	△553,087	△889,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△399,805	△735,106
無形固定資産の取得による支出	△13,893	△23,047
差入保証金の差入による支出	△112,212	△86,213
差入保証金の回収による収入	439,137	152,809
その他	△87,638	△134,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,413	△826,417
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△18	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	△19
現金及び現金同等物に係る換算差額	△531	16,413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△728,051	△1,699,482
現金及び現金同等物の期首残高	6,831,647	6,102,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,103,595	4,402,982

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間（自 2013年3月1日 至 2013年8月31日）
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間（自 2013年3月1日 至 2013年8月31日）
該当事項はありません。